

多摩交流センター30周年記録誌
〈2014（平成26）年度～2023（令和5）年度〉

2024（令和6）年12月

公益財団法人 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

多摩交流センター30周年記録誌
〈2014（平成26）年度～2023（令和5）年度〉

2024（令和6）年12月

公益財団法人 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

目次

PART 1	はじめに.....	5
PART 2	多摩交流センターの概要.....	7
(1)	開設の経緯.....	8
(2)	多摩交流センターの事業.....	11
(ア)	交流の場の提供.....	11
(イ)	助成等事業.....	16
(ウ)	共催等事業.....	21
(エ)	情報発信等事業.....	25
(3)	多摩交流基金運営委員会.....	28
(ア)	多摩交流基金運営委員会について.....	28
(イ)	委員一覧.....	29
PART 3	10年の事業実績.....	31
(1)	交流の場の提供.....	32
(2)	広域的市民ネットワーク活動の支援.....	38
(ア)	事業助成.....	38
(イ)	活動支援.....	40
(3)	共催等事業.....	42
(ア)	TAMA市民塾.....	42
(イ)	多摩の歴史講座.....	43
(ウ)	TAMA-3Rフォーラム（旧TAMAとことん討論会）.....	46
(エ)	多摩発・遠隔生涯学習講座.....	49
(4)	情報発信等事業.....	52
PART 4	広域的市民ネットワーク活動等の課題と今後の方向性.....	57
(1)	課題.....	58
(2)	今後の方向性.....	59

PART 1

はじめに

30周年記録誌発刊にあたって

2023（令和5）年、多摩交流センターは30周年を迎えることができました。

これもひとえに、これまで多摩地域で市民ネットワーク活動の推進と市民交流を図ってこられた登録団体の皆様や、地域の振興と発展のために、広域的な地域づくりやまちづくりにつながる活動に取り組んでこられた市民団体、当センターの活動を支えていただきました関係団体の皆様の賜物であり、ここに厚く感謝申し上げます。

1993（平成5）年、多摩地域が神奈川県から当時の東京府に移管されて100年目という節目の年を、新たな100年のまちづくりへ向けての門出の年とするため、多摩地域の人々や団体の参加を受けた365万人のまちづくり運動「多摩東京移管百周年記念事業—TAMAらいふ21—」が多摩の全域で開催されました。当センターはこの「TAMAらいふ21」の成果を継承し、多摩地域での住民交流の一層の推進を図るため、1994（平成6）年7月に、財団法人東京市町村自治調査会に設置されました。

当センターでは、この間、市民団体による広域的活動を支援するため、各種事業を展開してまいりましたが、近年は市民活動や市民交流の多くが新型コロナウイルス感染症の感染拡大、財政面や担い手不足等の様々な要因によって、活動内容や規模を縮小せざるを得ない困難な状況が続くなど、関係団体の多くが運営に苦慮している状況も見受けられます。

その一方で、その担い手がNPO法人や企業のCSR（企業の社会的責任）などに広がりつつあります。

このように、前回の記念誌発刊以降、この10年間（2014（平成26）年度～2023（令和5）年度）は様々な要因により当センターの事業活動も影響を受けましたが、その間の取り組んだ活動を振り返るとともに、その成果を取りまとめました。これまでの歩みが、皆様の今後の活動の一助となれば幸いです。

公益財団法人 東京市町村自治調査会
常務理事 小暮 実